

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

石川県の僻地における認知症支援体制構築に関する研究

研究分担者 小野賢二郎 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学
研究協力者 篠原もえ子 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学
研究協力者 碓井 雄大 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学

研究要旨

わが国の過疎地域では高齢者のみの世帯が多く、高齢者に問題なく認知症医療が提供できる体制を構築することは喫緊の課題である。本研究では石川県の過疎地域における認知症医療・ケアの現状について把握し、過疎地域の認知症医療・ケアの課題を抽出するとともに、過疎・少子高齢化が進む能登中部・北部医療圏において 2024 年元旦に生じた能登半島地震が認知症医療・ケアにどのような影響を及ぼしたか、検討した。その結果、地震後は一部病院で認知症患者の入院増加、認知症ケアチーム活動の停滞、退院調整の困難、認知症の行動心理症状の悪化が認められた。災害は診療体制・地域支援の両面に深刻な影響を及ぼしており、継続的かつ柔軟な支援体制の整備が求められる。

A. 研究目的

石川県能登中部・北部医療圏は全域で過疎・少子高齢化が進み、認知症診療を行う医師が不足している。本研究では石川県の過疎地域における認知症医療・ケアの現状について把握し、過疎地域の認知症医療・ケアの課題を抽出するとともに、2024 年元旦に生じた能登半島地震により、能登中部・北部医療圏における認知症医療・ケアがどのように変化したかを明らかにする。

震後の石川県の過疎地域での認知症診療の変化についてアンケート調査を実施した。

（倫理面への配慮）

本研究に携わるすべての者は、人を対象とする全ての医学研究が準拠すべき「世界医師会ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）の内容を熟読し理解した上で遵守し、研究を施行する。

B. 研究方法

1) 医療機関へのアンケート調査

2024 年 8 月に郵送法にて石川県内のへき地医療拠点病院 4 か所ならびに認知症疾患医療センター3 か所を対象に能登半島地

C. 研究結果

1) へき地医療拠点病院

石川県内のへき地医療拠点病院 4 か所のうち、1 か所は認知症疾患医療センターを併設している 434 床の中規模の病院で、残

りの3か所はいずれも病床数100～163床の小規模病院であった。

能登地域にある中規模病院では地震後外来・入院の認知症患者数が増加したが、他の3病院では減少または変化が見られなかった。認知症ケアチーム活動は地震前、2か所のへき地医療拠点病院で認知症サポート医（精神科・老年化・内科）を中心に週1回のペースで実施されていたが、地震直後は医療スタッフ不足により認知症ケアチーム活動が月1回未満しか実施できていなかった。8月より認知症ケアチーム活動は地震前と同じ週1回のペースとなっている。退院先施設や自宅の被災により退院調整が難航し、入院が長期化するといった課題が報告された。

2) 認知症疾患医療センター

石川県内の認知症疾患医療センターは精神科単科病院に併設されているセンターが2か所、総合病院の精神センターに併設されているのが1か所であった。

能登地域にある認知症疾患医療センターでは、外来における過疎地域在住者の割合が減少した一方で、入院における過疎地域在住者の割合に変化はなかった。地域コミュニティや家族支援体制の崩壊により認知症患者の見守りが困難となり、認知症患者の認知機能低下や行動・心理症状（BPSD）の悪化が生じたことが報告された。

D. 考察

本調査から、能登半島地震は石川県過疎地域における認知症診療・ケアに多面的な影響を及ぼしたことが示された。地震直後には医療スタッフ不足により認知症ケアチームの活動が著しく制限され、診療体制が

一時的に後退した。さらに、退院先の被災や家族支援の崩壊により、入院の長期化や認知症症状（特にBPSD）の悪化が生じた。また、外来における過疎地域在住者の受診機会も減少し、地域医療へのアクセス低下が懸念される。今後の課題として、災害時における認知症診療の継続体制、患者・家族支援の代替手段等が挙げられ、特に過疎地域においては柔軟かつ持続可能な支援体制の整備が求められる。

E. 結論

能登地域にあるへき地医療拠点病院、認知症疾患医療センターともに、能登半島地震による被災や地域コミュニティ及び家族支援体制崩壊の影響で、入院の長期化や認知症患者の症状悪化といった問題が生じていた。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Noguchi-Shinohara M, Ozaki T, Usui Y, Shibata S, Shima A, Komatsu J, Ono K. Housing damage and forgetfulness following the 2024 Noto Peninsula earthquake, Japan. J Alzheimers Dis, in press.

2) 篠原もえ子、碓井雄大、小野賢二郎：石川県の過疎地域における認知症医療・ケアの現状と展望。老年精神医学雑誌 35:38-46, 2024

2. 学会発表

1) 碓井雄大、篠原もえ子、小野賢二郎：石川県の過疎地域における認知症医療・ケアの現状と課題。第65回日本神経学会学術大会、東京、2024.5.29-6.1

- 2) 篠原もえ子、碓井雄大、小野賢二郎：石
川県の過疎地域における認知症医療・
ケアの現状と課題。第 39 回日本老年精
神医学会、札幌、2024.7.12-13

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む.)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし